



特定非営利活動法人

日本防災士会高知

正会員48名 賛助個人会員14名 賛助法人会員1団体（令和3年10月）

特定非営利活動法人
日本防災士会高知
JAPAN BOUSAISAI SOCIETY KOCHI
〒780-0914 高知市宝町19-20
Tel/Fax088-875-9773
http://bousaishikochi.watson.jp/



BCP（事業継続計画）策定支援講座

NPO法人日本防災士会高知は県からの依頼を受けて介護老人保健施設などに対するBCP（事業継続計画）策定支援講座を担当しています。

今回支援するのは、病院、介護老人保健施設、居宅介護支援事業所を含む法人としての策定を目指している事業所です。第1回は南海トラフ地震基礎講座を行うと共に、今後のBCPへの取り組み手法などの基礎編を実施しました。引き続き月1回開催のペースで計5回の策定支援講座を行います。

BCPの勉強ができます。興味のある方、見学可能ですので、希望者は事業班までご連絡ください。



民間事業者と連携

高知県の「令和3年度旅館業事業継続計画策定支援事業等委託業務（津波等防止対策セミナー実施委託業務）」のプロポーザルへ民間事業者と連携して応募し採択されました。来年には県内の旅館・ホテルを対象に、県下3か所で「津波防災セミナー」を開催する予定です。NPO法人日本防災士会高知は津波避難机上訓練を担当します。



雨中の避難訓練

春野町の自主防災組織の避難訓練と勉強会への支援を行いました。前夜からの雨天でしたが、保育園児から年配の方まで熱心に取り組まれました。災害は天候を選びませんので、リアル訓練となりました。林間の避難路を使って高台の避難場所まで避難しました。防災士から途中の危険箇所や注意することなどのアドバイスを行いました。その後、集会所で避難準備品などの勉強会を行いました。



スキルアップ研修

来てみいや！勉強になるぜよ

龍馬



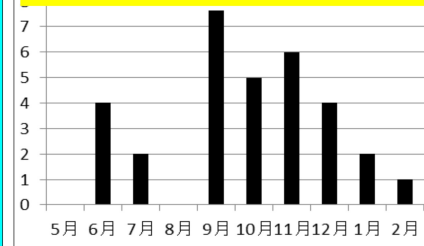
◆新型コロナ感染防止のため一時開催を見送っていましたが、毎月開催のスキルアップ研修を再開しています。地域に出かける「防災寺子屋」は開催していませんので、スキルアップ研修をご利用ください。研修班では会員の方のスキルアップにつながるメニューに取り組んでいます。

◆10月の研修では、東日本大震災時において耳の不自由な方が大災害をどのように受け止めたか、苦勞されたことなどをドキュメンタリーとして製作されたビデオを視聴しました。（写真）

◆本年最後の研修は、12月4日（土）高知市南部健康福祉センター（百石町3丁目）で開催します。第1部（午前10時～）：「お楽しみ防災食」、第2部（午後2時～）：①「防災士に任せちよき」、②「ここがポイント」こうち防災備えちよき」です。是非、ご参加ください。お好きなテーマをどうぞ。



出前講座実施（11月末までの予定）



◆新型コロナ感染状況の落ち着きと共に出前講座への申し込みが増えました。

◆出前講座を一緒にやってみませんか。見学も可能です。

お知らせ



●会員の太田清司さんから、官製はがき200枚を寄付していただきました。ありがとうございます。会員への通信用に大事に使わせていただきます。

●理事は、スケジュール調整の上、出来るだけ理事会への出席をお願いします。

●各担当は以下です。事務局：小笠原／岩本、会計：飯田／松村、研修班：岡本／岡崎、広報班：井上／大石、事業班：井上（敬称略）

「会員の地域防災活動」 災害時は栄養を考えよう

高知市宝町公民館「いこいの家」で第7回「宝町防災カフェ」を開催しました。高知県立大学健康栄養学部・こうち減災女子部とのコラボ企画で「ポリ袋でつくる災害食を地域で広めよう」をテーマに、学生が中心にメニューを考え準備を進めてきました。普通米と無洗米で作る「ごはん」「牛丼」「アレルギー対応の缶詰を使ったきゅうりの和え物」、またお肉の苦手な方用に大豆でできた代替肉を使ったものも作りました。コロナの感染防止のため、今回はスタッフが調理をしました。参加した地域の方々は、災害に関する手作り紙芝居や、パッキングの説明を熱心に聞き、また調理法に対する質問をしていました。出来上がった料理は自宅に持ち帰って昼食に食べてもらうことにしました。



災害時には、野菜が不足し、冷たいものばかり食べることが続く予想されます。この調理法を覚えることによって家族の好みに沿った暖かい食事ができます。

